



大分県立竹田高等学校
同窓会
第34号

発行所 長 用正靖彦 副会長 田部修士
編集者 委員長 田部修士
発行所 同窓会事務局
〒245-0016
熊本市東区和泉町4384-2
電話 045-803-5677

印刷・データラフト㈱

会長就任・ご挨拶

用正 靖彦 (昭30年生)



関東同窓会会員の皆様には

益々ご健勝で(活躍の)ことにお
喜び申し上げます。
日頃は同窓会の運営に格別のご
支援とご協力を賜り誠に有難う
ございます。

このたび 佐藤映之会長の後
任として会長に就任致しました
用正靖彦でございます。

本年2月の役員会開催後に、
前会長より来る幹事会での役員
改選時に会長に推挙するので受
けるよう要請がありました。私
ごとき者が任に就くことは、不

適当と思ひ固辞致しましたが、
再度求められ 止む無くお引き
受けした次第でございます。何
分にも不足者でございますが、
微力を尽くしたいと思っております
が、会員の皆様のお力のお力添
えを賜りますようお願い申し
上げます。

我が関東同窓会は昭和62年春
に結成され、歴代の会長や役員
のご尽力により、盤石の基礎が
築かれ、今日の立派な同窓会を
構築されました。

本年は母校創立百十周年にあ
たり各種記念事業が実施される
年であり、また、関東同窓会も
昨年設立20周年の節目の年を迎
え、設立以来本校の発展にご力
を頂いた方々の功績を称え、
総会の席上で感謝状と粗品を贈
呈。更に、イベントには母校器

楽部を招きその演奏を会員の皆
様に楽しんで頂きました。かか
る節目の年に会長に就任するこ
とになり、責任の重さを痛感し
たしております。

今回の役員改選にあたり、設
立以来 役員として従事して頂
いた方々の名前が、執行役員
欄より居なくなつたことに対し
ては、寂しさや時の流れを感じ
ます。特に初代会長として基礎
を築かれた 高宮 昇相氏が
去る4月16日にご逝去されま
したことは、誠に残念であり、深
く哀悼の意を表しご冥福を心か
らお祈り申し上げます。

現在、会員数は二千二百余名
維持会員三百八十名強、広報誌
(臥牛) 一回発行、そして年
一回開催される総会・懇親会の
出席者数は毎年二百名強を数
え、年々内容が充実、これもひ
とえに各役員、各委員会委員、
学年幹事、そして当番学年幹事
会スタッフの皆様、それと
会員の皆様のご協力の結果と
確信致しております。
同窓会の趣旨は、会員が母校

の発展に何らかの形で貢献する
ことであり、併せて、「よき」は
異なつても同じ喜びや誇りを持
た同志が何の屈託も無く抱け合
うことにあると思ひます。

先輩が審議された「もうハウ
を、関東同窓会の特色である
「維持会員制度」「委員会制度」
「総会・懇親会の当番学年幹事
制度」を基軸に推進し、次の事
項に力点を置き次に繋げていき
たいと思ひます。

①維持会員の増強による財政の
安定

②新卒および若年会員の把握と
総会への参加促進

維持会員数・維持会費は共に
減少傾向にあり、口数は前年比
なつてきております。会の安定
的運営を図るためにも維持会員
の増強が必要で、会員の皆々様
のご支援を切にお願い申し上げ
ます。

昭和60年代以降 特に
平成以降の卒業生の把握
が難しくなつてきております。
新卒や若い世代の把握
に努めてまいりますので、同
学会等や住所氏名で判
明されたら、本人の了解
の上、事務局まで一報
下さい。また会員の皆様
が転居された場合にも、
是非ともご連絡を事務局
までお願い致します。
なお、当番学年幹事制
度は2学年で行つていま

したが、平成20年の「第22回総
会・懇親会」より3学年で行う
ことが幹事会で決定されまし
た。

一年一回開催の総会・懇親会に
参加しやすい環境づくりが肝要
で、幅広く、老若男女が相親愛
で、和やかに交流出来ることこそ、
歴史ある伝統校、竹田高校にふ
さわしい同窓会と思ひます。

第21回総会・懇親会は平成19
年6月9日(土) アルカディア
市ヶ谷において二百二名の出席
者を得て盛大に開催されました
とをご報告申し上げますと共に
母校竹田高校百十周年記念事業
が大成功を収め、総会・懇親会
が盛大であることをお祈り申し
上げます。

最後に関東同窓会の発展に対
して会員皆々様のご支援ご協力
を重ねてお願い申し上げます。
敬と致します。



大分県立竹田高等学校

関東同窓会 第21回総会・懇親会

とき 平成19年6月9日(土)

ところ アルカディア市ヶ谷

当番幹事



新会長より「会報は1800部
余り発送しているものの60名は
ど宛先不明で返送されており、
会員相互の連絡と協力をお願い
をしたい。」また、「会員の高齢
化に伴い、維持会員並びに維持
会費が減少傾向にあり、同窓会
をどうしたら楽しい会合にでき
るか」と挨拶があった。

新役員を紹介します。来賓と
して、大塚校長、牧市長と後藤
同窓会長より挨拶を頂いた。大
塚校長は挨拶の中で、「110周年
記念事業への協力のお礼と竹
田高校は地方(田舎)の公立高
校としての良さを出して文武両
道で他校に引けを取らない学校
にしていきたい。昨年は県大会
で4つの優勝旗を持ち帰った。

「柔道男子、アーチェリー女子、
山岳男子・女子」と勝負を述
べられた。牧市長は、「(元気に)
「コンニチハ! 今日の日曜会を
喜んでいます。」と発声され、
幹事より短めの挨拶と予め依
頼していたものの、竹田の近況
含めやや長めの挨拶があった。

近況報告

・岡城のCG化が少し遅れてい
るが秋の竹田会が披露する。
・大野用水系にある白水滝、編
組滝が国の登録記念物に指定さ
れた。

・6月11日に長湯で全国温泉サ
ミットが開催された。

新会長を盛り上げていこう。乾
杯!」と元氣一杯に挨拶をされ
た。

・7月29日の市町村サミット
(P.H.P主催)21世紀の人づく
り子育てフオワードで東海市な
ど全国13市と協力して郷土の偉
人の掘り起こしを行う。竹田市
からは廣瀬丈夫を取り上げる。
・九種庁からの報告の中で竹田
市は2030年までに人口が半
減するとの危惧が指摘された。
対策として苦しい財政の中から
ケーブルテレビ、光ケーブルの
各戸配布を検討されている。
・6月1日より医師の退職で医
師会病院の救急指定がはずされ
ている。医師の紹介を頼む。

板井健さんと藤島ひとみさん
(ともに51年卒)に引き継がれ
二人の司会で進められた。懇親
会では、故郷の団子汁、やせ馬
なども振舞われ、会場のあちら
こちらで記念の撮影会がされ、
食事と話の花が咲き乱れた。ア
トラクションの和太鼓で会はず
らに盛り上がり、演奏の最後に
バチが折れるハプニング(また
は演出)に会場より「オオ」と
の驚きの声も上り大いに堪能
した。

・今夜10時半より東京12チャ
ネルのトヨタのコマーシャルで
竹田が放映される。等々...

楽しい時間は瞬く間に過ぎ、
来期への当番幹事の引継ぎがな
され、新旧幹事(後藤玉士さん
・尾玉幹生さん、志賀卓志さ
ん)のお礼と挨拶があり、最後
の校歌斉唱の時間となった。事
前に幹事より高齢に付き控えめ
にどの回数制限があり一回だけ
会場一杯に輪を広げ(歳を忘れ
て)スチームの風で会を締めた。

平成十九年

総会報告

6月9日12時30分よりアル
カディア市ヶ谷にて今年の総
会・懇親会が開催された。

司会の松良さん(34年卒)
の開会宣言で総会がスタート
し、初めに佐藤会長が壇上に
上がり、竹田高校110周年

用正幹事長からは会務・会計
報告がされた。維持会員が減少
傾向にあることと昨年の同窓会
に招待した器楽部員の上京費
用1/2負担など経費増があっ
て次期繰越金が大きく減少して
いる状況について報告があっ
た。尚、会計報告の内容につい
ては総会に先立って監査が実施
され適正である旨工藤敏博幹事
より報告があった。

続いて佐藤会長より、役員
の改選期にあたり、総会に先立
て3月の幹事会にて新役員が決
定され、用正幹事長が新会長と
して選任された旨報告があり、

また、後藤会長は、関東同窓
会、里見愛学会から地元への支
援に対するお礼と110周年記
念事業を盛り上げるべく引き続
き協賛事業などでの参加協力の
呼びかけがされた。

農工会長、橋本国東同窓会長、
生野三重同窓会長、岡本三重
同窓会長ら3人米貫紹介に続き、
17期の甲斐さん(長湯出身)が
紹介され、「維持会員の減少な
ど苦しい報告もあったが全員で

高友会・芹川会長、後藤東京
農工会長、橋本国東同窓会長、
生野三重同窓会長、岡本三重
同窓会長ら3人米貫紹介に続き、
17期の甲斐さん(長湯出身)が
紹介され、「維持会員の減少な
ど苦しい報告もあったが全員で

12:30は報告つづば
13:00は会計報告さ
14:00は会長挨拶さ
15:00は役員挨拶さ
16:00は懇親会さ
17:00は閉会さ

プログラ
ム

1. 12:30は報告つづば
2. 13:00は会計報告さ
3. 14:00は会長挨拶さ
4. 15:00は役員挨拶さ
5. 16:00は懇親会さ
6. 17:00は閉会さ



牧市長「コンニチワ」



大塚校長「竹田高校は文武両道・・・」



受付 ご苦労様でした。



新旧学年幹事挨拶 ご苦労様です。



アトラクションの和太鼓 バチが折れるハプニング

フォトで綴る!! 第21回 総会親睦会風景

プログラム 〔親睦会の部〕

12:20～14:30

1. 乾杯
2. 会食・歓談
3. アトラクション
4. 当番幹事引継ぎ
5. 「校歌」斉唱
6. 閉会のことば



佐藤前会長より 用正会長へ



恒例のストームに酔も時のたつのも忘れて

★これらの写真は竹田高校同窓会のホームページで、見ることができます。
<http://geocities.jp/kantohtaketa/>

相談役 高宮 昇さんの死を悼む

前会長 佐藤 映之
(昭28年卒)



当会、設立に千辛万苦のこの努力をされ今日この礎を構築された初代会長 高宮昇さんが去る四月老衰のため水眠されました。(行年九十一才) 尊敬する高潔な人格者を亡くしてなりません。

述べるまでもなく、博学多才、温厚篤実の人格で万人が認めるところでありました。昭和八年旧制竹田中学卒業―第五高等学校―東京大学―陸東芝―兵役―東芝復興―アメリカ東芝社長―本社常務―東芝EM社長―同社社長―日本レコード協会会長―国際レコード産業連盟理事―六十一年退社、同年、勲三等瑞寶賞受賞された。名実共にご立派な方でした。同窓会々長ご就任後は基盤づくりの精神的に東奔西走、スタッフを叱咤激励されました。又氏は大変な郷土愛、母校愛を強くお持ちの方でありました。過疎化が進む竹田地方を憂い、母校の動静を気にかけておられました。平成六年の秋、母校同窓会に招かれ相談役高宮昇、会長伊東七五三、幹事長佐藤映之の立場で母校訪問致し申し上げます。

各委員会報告

平成十八年度会務・会計報告

(1) 総務委員会からのお願い

総務委員長 緒方 義信
(昭38年卒)

維持会員拡大に協力を。総務委員会は、財務を担当しており、当面の課題としては、維持会費収入の確保であります。

現状を申し上げますと、「平成18年度維持会費納入者芳名簿」のとおり、三〇〇名の方々から約一七〇万円の会費をいただいておりますが近年減少傾向にあり、本年度は現在のところ一五〇万円の見込みとなっております。これは、約六〇%を占めている高齢会員の脱会が主な理由となっており、今後この傾向が続くものと思われ、同窓会活動の継続するには会費収入の確保がどうしても必要であり、皆様にご理解ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

また、支出につきましては、維持会費収入から総会費用(例年支出していた約六〇万円を本年は、原則「総会費用は総会費収入でまかなう」を目標に運営するなど効果的かつ効率的な運営に努力していきたいと考えております。

本年の役員改選で次のメンバーが引き続き担当することになりました。よろしくお願いいたします。

(長) 緒方 義信(昭38卒)
(副) 佐田 俊一(昭41卒)
小池 健治(昭47卒)
板井 健(昭51卒)

(2) 企画委員会

企画委員長 井手 得郎
(昭41年卒)

平成19年6月9日(土)、アルカディア市ヶ谷において200人の参加をいたかつき(第21回総会)が盛大、かつ和やかに行われました。昭和41年卒、51年卒の当番幹事のみなさんの一糸乱れぬ協調と見事な裏方ぶり、参加者一同大いに青春時代

を思い起こし、故郷竹田を感じたものでした。昨年秋以来、毎月新宿に集い「打ち合わせ会」を重ねてきた成果を見たように、さて、「次回」第22回総会です。

昭和42年卒、52年卒の皆様は当番幹事をお願いして、平成20年6月28日(土)市ヶ谷アルカティアで開催を予定しております。友人・知人をお誘いの上、皆様のご参加をお願いします。

(3) 組織委員会

組織委員長 後藤 猛士 (昭41年卒)

組織委員よりお願い

来年(平成20年)の間東同志会は、新たに当番幹事として昭和62年卒業生の方々が、42年、52年卒業生とともに、同志会の運営にあたることになっております。

その後は、順次昭和の卒業生から平成の卒業生へ当番幹事が引き継がれることとなります。

ところが間東同志会では、60年代卒業生以降の名簿が整備されておらず、又、卒業生も少なくなり同志会の運営に支障をきたす状況が生まれました。

個人情報等の弊もあり、皆様方のお知り合いの卒業生のご紹介を是非宜しくお願いいたします。

連絡先は、組織委員または事務局までお願いします。又、竹田高校間東同志会のホームページの「お問い合わせ」欄にてメール連絡もできます。(ホームページの検索は、竹田高校間東同志会です)

(4) 広報委員会

広報委員長 田部 修士 (昭42年卒)

一気にならなくなったメンバー(といっても同志会内輪のことですが)でやっております。不慣れな事もありますが皆さん宜しくお願い致します。とにかく原稿と納期です。広報委員OBの方々に引き続き支援をお願いしながらやっております。自分自身のことも含め高齢化に対応する為できるだけ文章は少なく、写真を多くできればと考えております。

誤字脱字を初めとして色々あるかと思いますが暖かいご支援願います。ホームページもよろしくご愛読願います。

【会務報告】

●平成十八年七月八日(土) 第二十回総会・懇親会

於 アルカディア市ヶ谷

出席二七五名

(養老部学生三五名含む)

今回は設立二十周年記念にあたり六人の方に感謝状を贈呈。オトラクシオンに母校薬学部を招待。若々しい演奏を楽しんで頂いた。

●平成十八年八月二十五日(金) 総会・懇談会の反省会兼懇話会

於 銀座クルーズ・クルーズ

出席二七名

●平成十八年十月十日(火) 定例役員会

出席十四名

・秋の定例幹事会日程、議題について

・同志会運営について再検討を会長より指示

●平成十八年十一月二十日(月) 秋の定例幹事会

出席三十二名

・第二十回総会・懇親会の会計報告

・維持会員及び維持会費状況説明

・第二十一回総会・懇親会に向けた準備状況

・母校一〇〇年記念行事の協力について

・春の定例幹事会日程、議題について

●平成十九年三月十三日(火) 春の定例幹事会

出席三十一名

・母校一〇〇周年記念行事について

・役員改選について

・第二十一回総会・懇親会運営内容について

・当番学年幹事を二学年から三年生に増加することを決議

・平成十八年度決算状況(概算)説明

・維持会員及び維持会費状況説明

会計報告

収支計算報告書

(平18.4.1から平19.3.31まで)

1. 収入	金額
① 入持会費	1,758,000円
② 会費	1,720,000円
③ 会費	140,000円
④ 付利	100,000円
⑤ 取付	102円
⑥ 前期繰越	3,718,102円
合計	1,682,602円
合計	5,400,704円

2. 支出	金額
① 総会費	3,041,925円
② 会費	560,938円
③ 会費	22,323円
④ 会費	416,406円
⑤ ホーム通信費	6,300円
⑥ 事務計	137,080円
⑦ 次期繰越	4,184,972円
合計	1,215,732円
合計	5,400,704円

3. 次期繰越の内訳	金額
① 現金	61,989円
② 預金	1,153,743円
合計	1,215,732円

上記の通り報告します。

平成19年4月7日

幹事長 用正 靖彦 ㊟

監査報告書

監査の結果、この収支計算報告書は、適正かつ正確であることを認めます。

平成19年4月7日

監事 坂本 勇 ㊟

監事 工藤 敏暢 ㊟

燃える!!

クリスマス会・同期会

平成十九年度
竹高関東二六会開催

吉良 欣一(昭26年卒)

現在、関東に在任の竹田高校二六会の会員は約八〇名、これまで毎年一回の懇親会を開催しております。今年の関東二六会は、七月十四日に東京高輪の三菱関東園で開催しました。この関東園は、三菱当主岩崎家の別邸として建てられた建物で、セ



平成19年度26会 於三菱関東園

レブな雰囲気味わえるゲストハウスです。

当日のお天気が、九州に上陸した台風が、列島を縦断しながら関東に接近中で、次第に風雨が激しくなると、状況では、多くの欠席者が出るのではないかと心配しておりましたが、皆さん余裕を持って早めに出て来られたようで、定例前日出席者が全員集合するという珍しいこともありました。九州、関西方面から、遠路遙々参加された人もあり、総勢三十三名のパーティーでした。

二六会の会員は、昭和七、八年生まれですから、お年は七〇歳の半ばですが、飲むお酒の量が年々少なくなっているようです。これも成のせいでしょうか。それとも健康のために控えているのでしょうか。二時間半のパーティーは、楽しく賑やかに進行し、無事にお開きとなり、次回の再会を約束しながら、それぞれの家路につきましました。それから四時間後、台風は関東を通過し、新幹線をはじめ多くの交通機関がストップしましたので、特に同一塾の関東二六会でした。

昭和41年卒 40周年
記念同窓会の思い出

伊藤 誠至(昭41年卒)

第4回の記念同窓会が終わり、もうすぐ1年になります。第4回は加藤陽一郎君他大分在住の人が幹事役を担当して頂き、別府ホテル清風で11月3日・4日の日程で開催しました。参加人数はご出席頂いた塾生が6人、同級生が100人、総勢106人でした。前回は大阪、前々回は東京でしたが今回は地元大分での開催、大分を離れている人も同窓会の方々に田舎に帰れることもあり参加人数は過去最高となりました。昭和41年卒の同窓会は4回目。竹田高校で開催した30周年記念の同窓会がきっかけでした。卒業以降初めて母校に集い友と会った以降、30年同窓会、40年同窓会、50年同窓会と、会社で働いてきた時間をスリッパし、忘れていた青春時代、友と遊んだこと、遅くまで議論したこと、此られたことなど学校での数々のシーンが浮かび高校時代に戻りました。それから病みつきになり定期的に開催しています。

第4回同窓会をスナップします。いつものこと幹事の挨拶、恩顧のご挨拶が終わると宴会の始まり、あちこちで一齊

に話の花が咲き3時間はあるという間に過ぎました。ホテル清風は従業員が舞台上で大玉とか手品とか種々のかく芸を披露してくれましたがみんなは殆ど関心なく。従業員も心づくしのアトラクションも上の空。竹高生の世界に入り込んでいました。その後場所を替えて2次会、3次会と止まることなく盛り上がり、気が付いたら午前様だったようです。

あくる朝、扉上にある露天風呂から別府湾に渡る朝日を見ました。11月の澄んだ冷気のみなかで湯に浸かり、しゃきとして酔いが醒めた感じが良かったです。温泉は本当に良いですね。何だか幸せな気分になりました。朝食は都合の良い時間に合わせてのことなく流れ解散。別府で地獄めぐりに遊んだ人、竹田で飲み会を遊んだ人、久しぶりの田舎で過ごした人、ゴルフを楽しんだ人、いろいろですが、同窓会当日も思うようにして、同窓会出ても何もしません、朝みんなとの別れに、「語り尽くせぬ思い」で名残惜しさを感じてしまいます。

雑誌や新聞のエッセイで「同窓会に出ては何も生まれません、昔の話をしているだけで建設的な話は一つもない」といった意見を見聞きします。しかし、私は同窓会出席して友との語らひを通して慰められたり、もっと頑張ると元気を貰ったり、気付かなかった自分の健康をうれしく思ったり、と多くの気付きがあるように思います。私は同窓会に参加し共に時を過ごすことで「心の洗濯」というか「癒し」が心地よく参加を続けています。今回は滞居の記念大会です。同級生と会う度に平成20年竹田の記念大会の話題になります。41年卒のみなさん、また集しましよ。

竹田高校41年卒業 卒業40周年記念同窓会 開催



遠路を迎える昭和41年卒の仲間

平成19年・県立竹田高校創立110周年記念事業

10月5日(金) 秋の好天に恵まれ式典・記念総会・祝賀会が盛大に挙行されました。

創立百十周年記念事業には全国の同窓会より協力いただきお礼申し上げます。
式典当日わざわざ竹田までお帰りの皆さまには本当に感謝いたしました。

記念事業6項目

- ① 校舎改修費の整備(合計¥24,325,000)
- ② 工事完了後は県教委へ寄付。維持管理は竹田高校PTAに移管。
- ③ 地方版への学校紹介
- ④ 宮崎寛一郎様を中心に合同新聞首飾紙さんと連携してスポンサー募集
- ⑤ 生徒の海外研修
- ⑥ 同窓会文庫の設置
- ⑦ 平成19年10月5日(金)午前10時、12時記念式典
- ⑧ 記念誌の発行(平成18年度中に発行予定)

特別表彰では、「財）里見英学会会長・理事長 里見翔雄様に感謝状と記念品を贈呈。



後藤同窓会長挨拶

記念式典会長挨拶 後藤宗昭

文化の秋を迎え、大分県立竹田高等学校創立百十周年記念式典が、ご来賓並びに同窓会員・PTA会員、在校生・参加のもと盛大に執り行われておりますが、心よりお祝い申し上げます。

創立百十周年にあたり学校当局・PTA・学林会・同窓会の四者で「母校の発展を願ひ」実行委員会を立ち上げ、全国の関係者に呼びかけてまいりました。四者を代表してご挨拶申し上げます。

皆様方よりは、今日まで、物心両面のご協力を頂き、心より敬意とお礼を申し上げます。

又、フォーラムにはパネラーとして医学博士「加藤孝子様」・丸紅会



竹田高校器楽部

長「辻 享様」・竹田商工会議所会頭「甲斐正幸様」・同窓会には、大分放送アナウンサー「工藤由美様」・アナウンサーには「西みほ様」のご協力を賜わり、感謝申し上げます。

加藤孝子様

「女性のセンスを生かして国際社会へ、その原動力は竹田であった。」

辻 享様

「グローバル経済のトップで活躍のとき元気づけの場となった高校の思い出が元気づけの場となった。高校生活は起承転結の初め「起」に当る。」

甲斐正幸様

「日本人の生活は大なり小なり国際的な関連がある。世界に目を向けながら故郷の発展も忘れないで下さい。」

工藤由美様

「ローカルにしてグローバルな竹校生徒をめぐらう」

在校生の諸君は先輩からのお話を聞き、今後の参考にして下さい。

本校・百十年の伝統の中で歌い継がれてきた「校歌」にある、「素直・剛毅我等が節」からのメッセージはなにか？

一九世紀の初め開港で活躍した西郷「田能村竹田先生」のライフワイクで、当時「日本のベストセラー」になった漫画「山中人脱走」下巻の最後に、「筆の巧みならざるを憂えず、心の至らざるを憂うるのみ。心の至

るとは、創意工夫をして自家一脚を立てることである。」と述べています。「テクニクの少しもすべりがない心配がないが、心のこもっていない作品はいけません」といっています。

聖賢「滝廉太郎先生」は明治三十三年十一月一日「四季の歌」の序文に「当今、日本の音楽はヨーロッパのおたまじやくしに日本語のごろ合せをして、原曲の心が出ていない。私はこれを遺憾に思い日本人の心で日本人の歌を作ったので批判をして下さい。」と述べて春は「花」は「春のうららの剛田川」

「夏」は「納涼」秋は「月」、冬は「雪」を発表し、更に不朽の名作「賞讃の月」を作曲しています。

「自家一脚を立てる」まさに、「滝廉太郎先生」のアイデンティティが遺憾無く発揮されているのです。

「山中人脱走」は画論であると同時に芸術論であり又人生論でもあります。校訓にある「自立自尊、もって本分を果さん」ということでしょうか……

天知の靈気とところろ山響水明類なし/神秘的麗を誰が掘る/素直・剛毅我等が節/ひとしくめぐらされこの郷土/竹高我等がある/……まことに素晴らしい校歌と伝統を皆さんは引き継いでいます。

創立百十周年を契機に母校「県立竹田高等学校」同窓会「PTA」学林会」の発展とご来賓並びに皆様方のご健勝、そして「在校生諸君の前途に幸せあれ」と、折念してご挨拶といたします。

計報

慎んでお知らせ申し上げ、心からご冥福をお祈り致します。

物故者御芳名

内山須磨子様(昭和19年卒)

平成18年12月22日 没

高島 憲隆様(昭和20年卒)

平成18年12月 没

大坪 孝子様(昭和26年卒)

平成19年3月24日 没

高宮 具雄(昭和8年卒)

平成19年4月16日 没

都築 義雄様(昭和26年卒)

平成19年6月26日 没

小野優次郎様(昭和35年卒)

平成19年9月18日 没

佐藤 毅士様(昭和28年卒)

平成19年10月4日 没

幸何らかの方法により、事務局へ連絡を頂いた方々を掲載しております。



会員の皆様へお知らせ

チャレンジ!! おおいた国体

竹田市開催競技



◆ソフトボール

北京オリンピック代表
表選手たちが息つく暇もなく各県を代表し国体に参加します。

これぞ世界のプレー
と思わせる白熱した試合展開をご覧ください。



◆ラグビーフットボール

全国8つのブロックから地域の代表が集結! 実業団チームを擁するチームの迫力ある激しいタックルやスピード感あふれるプレーが見どころです。昨年の兵庫国体では、神戸製鋼・ワールドを中心とする兵庫チームが優勝しました。

開催日 平成20年10月3日(金)・5日(日)・7日(火)

◆山岳

おおいた国体から人工壁を登るリード競技とボルダリング競技に変わります。選手の中には世界大会で上位入賞する実力者も参加します。その技はまさに常識を超える忍者のようです。

開催日 平成20年10月3日(金)・5日(日)

詩歌・文芸



石原 田鶴子(昭和5年卒)

猪籠狼寺の名に心を惹かれつつや
つと語おし五十年目に

富士野なる巻野の師となす久住野の
巻野のさま眼裏にたつ

朽網山と歌はれし昔狼の声は原野に
響きあらん

✦

河野 祐司(昭和6年卒)

野暮を見つけ幼き日に還る

かなかなの短か世閉じる歌哀し

✦

〔竹田市在住の両家 阿南英行さん〕

(昭和5年卒)

滝区六本木の国立新美術館にて
土古会展に出展されます

12月12日(水)〜24日(月)

AM10:00〜PM6:00

※火曜日休館



あとがき

※「投稿」をお待ちしています。

この会報は会員皆様方の情報交換の場として編集しています。

関東同窓会全員の方々の投稿を期待していますがその数が少なく苦労しています。お互いの交流の場としてぜひお活用下さい。

委員一同

・投稿内容

- ①クラス会情報
- ②故郷の便り
- ③海外便り
- ④会員の謝辞
- ⑤その他
- ⑥詩歌・文芸
- ⑦会員の催し
- ⑧会員消息

・連絡先

T 103-0027

東京都中央区日本橋1-15-1

日本バークライジングクラブ

田部 修士 宛

FAX 03-3267-4300

E-MAIL 03-3267-4300

03-3267-4300

(広報委員長)



維持会費の納入者の現況

●維持会費でご負担のお礼とお願

*関東同窓会は、維持会員の皆様の日頃からの、深いご理解とご協力に支えられて、安定的なあゆみを経ております。まことにありがとうございます。
*未済となっております方には、何かと出費ご多端の折りかとも思いますが、ご負担についてのご協力方よろしくお願ひ申し上げます。

●平成18年度年会費納入者芳名簿

(平成18・4・11・19・3・31) (総務委員会)
お名前もれがございましたら、同窓会事務局までご連絡下さい。
TEL03(5832)6531 FAX03(5832)6532

〔旧制中学の部〕

- 昭和6年度 山口 立
昭和11年度 田部 健、武藤省三
昭和15年度 須藤勲二 服部壽次
昭和19年度 後藤忠志、伊東七五八
昭和20年度 足立五郎、伊東七五八
郭田隆哉、堀 誠一
前田 健、渡辺龍雄
昭和23年度 栗生利信、池内勇吉
近藤秋男、布池泰義
和田真琴、渡邊義一

〔旧制高女の部〕

- 昭和8年度 久保タケ
昭和11年度 佐藤ナルミ
昭和13年度 三代陽子
昭和14年度 石原田子、小倉セツ
昭和16年度 廣瀬亨子
昭和17年度 藤本安子
昭和21年度 徳丸九十子

〔高等学校の部〕

- 昭和24年度 安藤俊哉、白井 充
昭和24年度 中原裕哉
昭和25年度 小田仁夫、森 義幸
山辺博治
昭和26年度 阿南惟正、安藤 智

昭和30年度

- 小島妙子、後藤忠臣
後藤文夫、下川正見
渡藤 謙、田北元良
得丸郁子、林 廣生
平本光昭、松田登子
堀 誠一、飯沼立雄
八木園樹、山口雄三
山田百子、古川隆浩
足立良一、阿南忠義
山田隆三、大塚隆石
川合文彦、島崎正幸
後藤善昭、斎藤昭義
後藤清八、坂本吉廣
真田ツヅキ、西 誠
西山山郎、原田慎一
丸山郁代、森 慎一
森 慶幸、森 哲男
森登七ツ、用正靖彦
古川忠彦

昭和31年度

- 阿南一哉、上田武男
阿南 昭、甲斐正治
金山豊美、後藤裕子
河野昭夫、生野善三
高橋房枝、田爪善三
中村和子

昭和32年度

- 伊野弘子、甲斐智津子
金子一也、鎌田多三
上村マチ子、工藤謙知
後藤誠一、津田光枝
得丸正哉、米田澄子
江崎和彦、飯尾真裕
林昭和、渡島資裕
吉野正樹、工藤裕一
河野元治、坂本 勇

昭和33年度

- 佐藤源治、佐藤順一
榎藤毅士、佐藤隆之
榎藤孝子、田宮郁子
中西文久、中村マチ
西美智子、柳 利江
堀 博、益水三生
矢口智子、古澤順三
小田仁夫、小代 孝
菅 章江、工藤敏福
久保博紀、小坂祐三

昭和34年度

- 武内英明、津下潤子

昭和35年度

- 土屋シエ、服部恭一
松良修二、赤野代子
山本榮子、吉崎裕子
和田 剛
麻生三郎、板倉 靖
伊深洋子、斎藤俊司
街藤光博、大塚恵士
小代文美、小野次郎
加治久織、川合達徳
河野達雄、兼高政治
酒井俊治、兼江保之
津田紀子、原 孝子
平手 肇、堀 順三
宗像直子、里正ツヅキ
新井敏子、大岡房子
小野野歌、佐田三郎
萩原 忠、松本雅美
朝長隆彦、安藤俊和
白沢龍彦、大塚泰子
落合 敬、甲斐昭賢
木内千草、岸野昭賢
徳丸和子、西山洋子
古庄正秋、橋本美太郎
緒方義信、梶原克之
熊谷克直、洪賢一郎

昭和36年度

- 高田紀代、田北剛夫
中野裕子、古川勝俊
古庄史郎

昭和37年度

- 友明、吉岡龍雄
吉田英明
池田重和、伊藤大義
大塚好美、志賀民士
首藤利幸、森 敦彦
田部 厚、羽立主輔
藤田和宏、古庄幸一
堀田 大、木田博教
阿南裕隆、池田典幸

昭和39年度

- 友明、吉岡龍雄
吉田英明
池田重和、伊藤大義
大塚好美、志賀民士
首藤利幸、森 敦彦
田部 厚、羽立主輔
藤田和宏、古庄幸一
堀田 大、木田博教
阿南裕隆、池田典幸

昭和40年度

- 井手得郎、伊藤誠至
街藤昌平、河野精一
工藤彰明、栗田信子
後藤直喜、後藤大林
坂本孝子、竹下 勉
中神章彦、藤井正浩

昭和42年度

- 別府郁美、都文生
気志妙子、工藤健二
男玉幹生、森島輝茂
後藤文夫、斎藤悦子
真田正三、野井伊津子
田部修二、野井伊津子
橋本まゆみ、野野純二
堀 正孝、三代浩志
山本英次、和田和子

昭和43年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和44年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和45年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和46年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和47年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和48年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和49年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和50年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和51年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和52年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和53年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和54年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和55年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和56年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和58年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和60年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

昭和62年度

- 朝倉 幸、甲斐あつ子
工藤三男、倉本正博
酒井善子、菅 裕子
高橋博子、高山良一
鎌谷 豊、堀 俊生
小代忠義、川口弘展
工藤勲子、下田和広
野村邦雄、羽田野輝
日高隆記、古庄英島
保坂裕子、本田 徹
小池健治、鈴木多孝子
田中瑠子、藤井泰親
本明善保子、水本忠士
阿南聡子、伊東光洋
阿南友枝

以上326名の皆様より維持会費の納入をいたさまして幹事一同よりお礼申し上げます。

ふるさと名所紀行 ～ガニ湯～

時の藩主もとりにこにした 長湯の炭酸泉

奥豊後温泉郷を代表する長湯温泉は、「日本有数の炭酸泉」を誇る。

温泉地で、古くから旅館に泊まり、「御前湯」「天満湯」「長生湯」「ガニ湯」などの共同温泉を利用する湯治客でにぎわった。その主格である御前湯の歴史は古く、今から三五〇年ほど前にさかのぼ



悲恋伝説の残る「ガニ湯」

を感じることが

でき、数十軒の温泉旅館が立ち並ぶ温泉街は、独自のにぎわいに包まれている。また、代表的な温泉療養地があるドイツとの交流も根付いており、建築様式や特産品など、ドイツ文化

当時、この地域一帯を統治していたのは開藩主「中川公」。その三代目にあたる久清公が天然温泉に目をつけ、趣味の山登りの後、里のいで湯で疲れを癒したと伝えられている。

いつか殿様専用の湯屋が設けられ、それが「御前湯」として、今日まで引き継がれている。現在では、長期滞在型温泉施設も

日本でも珍しい高温の炭酸泉は、重炭酸イオンとアルカリ土類金属（カルシウム、マグネシウム）を多量に含み、鉄分までも含有しているのが特長。これら土類イオンは、神経を解きほぐす働きもあり、まさに現代病のための温泉といえる。長湯の炭酸泉は、入浴剤の七倍以上もの炭酸濃度を誇り、いかに貴重な天然資源であるかがうかがえる。また、古くより入って飲むことで、最も効果があるとわられてきた。温泉療養学の松尾博士は長湯温泉を讃え、このような詩を残している。

「飲んで効き 長湯して利く長湯のお湯は心臓胃腸に血の薬」



飲泉場

しばらくして川の水が引いたところ、川の中にガニの形をした大岩が現れ、無数の泡をともなった湯が湧き出した。以来、村人たちはこれを「ガニ湯」と呼ぶようになった。



木造西洋風建築の御前湯

ガニ湯伝説

昔、長湯温泉を流れる川にガニがいた。ある日ガニは色白の美しい村の娘に一目惚れをしてしまった。そして一日にたまって娘を嫁にしたいと思うようになった。

たまたまそんなガニの切ない思いを知った川のはとりにある寺の僧が「寺の鐘を百回叩けば人に生まれ変わる」と言い聞かせた。そこで娘が湯あみに来たとき僧が鐘をつき、ガニは川の中からこれを知っていた。僧が鐘をつきながらふと娘に目をやると娘のあまりの美しさにこれまた一目惚れ。鐘を九十九までついで「娘はオレがもう」と言いつて娘に近づいたとたん、空がさかきもって大雨となり僧もガニも落雷にやられてしまった。